

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 家庭教育支援活動の取組事例

「就学時健診時を活用した子育て学習講座」(岩手県釜石市)

取組の概要や経緯

幼児期からの生活リズムの乱れが多いことや、東日本大震災被災地として、**子どもの学習・生活環境の好転を図るためには、保護者の理解と率先者たる協力、またそれらに資する学びが必要な背景から、保護者が一同に参会する機会を活用し**子育て学習講座を開催。

内容

学校との連携・協力のもと、保護者が一同に参会する次年度入学児童の就学時健診時の機会を活用し、「生活リズムの確立の必要性」に関する子育て学習講座を開催。

講師は、**地域人材の活用の観点**から、市内在住の専門的知見を持つ方が務め、科学的根拠や作用を示しながらも、生活リズムの確立につなげる行動例では、**保護者にとって日常生活から想像しやすい内容を伝え**、必要性や理解の深まりが図られたところ。

- 時期：平成29年11月～12月(4回開催)
- 会場：就学時健診会場校
- 講師：「子どもの早起きをすすめる会」早起きコーディネーター(市内在住者)
- 対象：平成30年度入学児童の保護者 約165名

ポイント

- ① 保護者が一同に参会する機会の活用。
- ② 講師は、元教育委員の経歴があるほか、当家庭教育支援活動はじめ、市の環境教育や国際交流の推進等にも尽力しており、**広く、市や地域の教育に精通している者が務めた。**

成果

次の事業効果測定結果(アンケート)のとおり、保護者としての学びに寄与していることや、今後の活動への期待に関する成果がでている。※(%)=肯定的回答割合

- 学習内容の理解度(100%)
- 学習内容の活用可能性(97%)
- 学習講座の満足度(95%)
- 地域ぐるみで教育活動を行う必要性の認識(96%)

今後の方向性

震災の影響はもとより、共働き家庭の増に伴う家庭教育環境の状況や、情報メディアの急速な普及に伴う子どもの健全育成への対応等を鑑み、継続的に当講座を実施し、保護者をはじめとした大人の学びに寄与していく。

